

メールニュース

No.21-055
2021年 10月25日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

米軍・陸自が全国各地で危険な訓練 オスプレイの飛行中止と配備撤回を

総選挙課題で全国署名の推進へ

米軍オスプレイの墜落事故
(2016年12月13日)



米軍 MV・CV と陸自 V のオスプレイの訓練が全国各地で激しく行われています。飛行中止と配備撤回が求められています。

千葉県の陸自木更津駐屯地に「暫定配備」されている陸自 V22 オスプレイは、初めて同駐屯地以外での訓練を 8 月 26 日に館山（千葉県）・百里（茨城県）の基地で行いました。V22 は、ほぼ週 3 回のペースで飛行訓練を行っているようです。9 月 13 日以降、静岡県陸自・東富士演習場に飛来し、離着陸訓練を行い、銃射撃訓練も実施していると考えられます。

米軍横田基地（東京都）所属の CV22 オスプレイが 4 月 15 日と 6 月 30 日、7 月 1 日の 3 日間、青森県の小川原湖上空で、水中に入った隊員の引き上げ訓練を行いました。地元の漁業関係者からは抗議の声が出ています。

青森県版平和新聞によると、青森県平和委員会と上十三平和委員会は 10 月 7 日、東北防衛局に米軍横田基地所属の輸送機 CV 22 オスプレイの小川原湖上空での飛行訓練にかかわる「県内全域を基地化する CV 22 オスプレイの訓練を中止せよ」の要請を行いました。同日、基地ゲート前や市役所、旧上北町商店前で「小川原湖をオスプレイの訓練場にすなな」「超低空飛行訓練などを認める日米地位協定を改定しよう」と、市民・町民に訴える宣伝行動を行いました。

オスプレイ問題を総選挙課題にし、安保中央が取り組んでいるオスプレイの「全国署名」の推進をお願いします。

愛知県 沖縄への機動隊派遣訴訟で上告

愛知県警が沖縄県東村高江での米軍ヘリ着陸帯（ヘリパッド）の移設工事のため、警備に機動隊を派遣した違法性を争った訴訟で名古屋高裁は 10 月 7 日、派遣を決めた手続きを判決で違法としました。県側は 10 月 21 日、不服として最高裁に上告しました。



自然環境破壊のサンゴ移植は止めるべき

沖縄防衛局が今夏に実施した辺野古新基地建設に伴うサンゴ移植に関して、県の照会を受けた日本サンゴ礁学会は、「水温が高い時期を避けるべき」と、見解を出しました。

県は 7 月 28 日のサンゴ移植許可の際、「高水温期を避ける」等の条件を付けていました。しかし防衛局は、29 日に移植を開始したため県は 30 日に許可を撤回しました。学会がまとめた見解では、水温が高いと白化現象や台風による環境変化で移植サンゴの生存率の低下する可能性があります。辺野古のサンゴ移植をめぐっては、国と県の訴訟で 7 月 6 日に県が敗訴しました。県の撤回で防衛局は 8 月 2 日、行政不服審査法に基づき、農水相に審査請求しました。同時に求めた許可撤回の執行停止が認められ、サンゴの一部を移植しています。

学会 辺野古をめぐる見解発表 サンゴ移植 高水温の夏は不適

日本民主法律家協会 「国民審査」リーフレット作成

今回の衆議院選挙に合わせて、最高裁判所の裁判官の「国民審査」が行われます。11 人の裁判官が対象になります。今年 7 月 6 日の辺野古サンゴ移植訴訟で、沖縄県への農水大臣の介入を認めた判決に反対の少数意見を述べた宇賀克也裁判官も対象となっています。

弁護士や学者らでつくる「日本民主法律家協会」が審査対象の 11 人について資料作成。最高裁の裁判官をやめさせるかを決める国民審査について、31 日の投票に向け協会のホームページで公開して判断材料にしてほしいと呼びかけています。リーフレットは下記の同会ホームページから。

<https://www.jdla.jp/>